

## 第5回 筑波大学 TEACH オンライン講演会

# 「日本に逃れた難民の保護とNGOの関わり: 国際比較から考える」

紛争や暴力、人権侵害から、国境を越えて避難する難民の数は世界中で2000万人を超える。日本、韓国、ドイツでは、その保護を行う責務は政府にあるが、ホスト社会には様々な構成員がおり、なかでもNGOの役割は重要である。日本では、政府による審査の間、人々が医療や福祉にアクセスできない、安全な場所での寝食さえままならない場合がある。いったいなぜそのような事態が生じ、NGOはそのなかでどのような活動を行っているのか。日本と他国の状況を比較しながら、このことを考えてみたい。

**挨拶** 明石 純一 (筑波大学人文社会系教授・TEACH運営委員長)

**司会** 秋山 肇 (筑波大学人文社会系助教・TEACH運営委員)

**講師** ひやま さとみ  
檜山 怜美

特定非営利活動法人なんみんフォーラム(FRJ)事務局。日本に逃れた難民を支援するNGO/団体の全国ネットワークの事務局スタッフとして、難民・難民申請者のための緊急シェルター運営の傍ら、関係機関の連携・協力の促進、支援現場の声をとりまとめた政策提言、海外NGOとの連携といった活動の調整を担う。2021年6月からは、アジア太平洋難民の権利ネットワーク(Asia Pacific Refugee Rights Network:APRRN)東アジアワーキンググループ副議長を務める。筑波大学社会・国際学群国際総合学類卒。

オンライン  
開催

2022年  
3月11日(金) 13時~15時



**主催**：筑波大学 TEACH プログラム (国際日本研究学位プログラム / 国際公共政策学位プログラム)

**申込方法**：QRコードまたはリンクから申し込みフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。  
申し込みリンク (<https://forms.gle/J1ZUvzCXgZrUD4W58>) 申し込み締切：3月2日(水) 17時

**連絡先**：teach-office@germanistik.jp

TEACH ウェブサイト (<http://teach.hass.tsukuba.ac.jp/>)

